

第 6 6 期 決 算 公 告

島根県安来市黒井田町731番地
広島ガスエナジー株式会社
代表取締役 蔵本 章雅

貸借対照表

2023年12月31日現在

(単位:円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 【流動資産】 | | 【流動負債】 | |
| 現金および預金 | 387,179,638 | 支払手形 | 5,894,407 |
| 受取手形 | 2,117,957 | 買掛金 | 62,775,241 |
| 売掛金 | 34,610,341 | 未払金 | 17,836,177 |
| 未収金 | 22,827,168 | 未払費用 | 4,293,377 |
| 貯蔵品 | 74,644,852 | 預り金 | 4,037,636 |
| 仮払金 | 513,000 | 未払役員賞与 | 0 |
| 立替金 | 202,359 | 未払法人税等 | 2,800,000 |
| 前払費用 | 309,006 | 未払消費税等 | 3,152,500 |
| 貸倒引当金控除額 | △ 410,000 | 仮受金 | 0 |
| 【固定資産】 | 700,010,937 | 【固定負債】 | 67,887,798 |
| 有形固定資産 | 582,790,061 | 役員退職慰労引当金 | 45,333,334 |
| 建物 | 181,940,613 | 退職給付引当金 | 22,554,464 |
| 構築物 | 18,141,779 | | |
| 機械装置 | 9,499,294 | | |
| 容器 | 1 | | |
| 導管 | 552,616 | 負債合計 | 168,677,136 |
| 貸付消費設備 | 105,049,822 | | |
| 工具器具備品 | 2,804,639 | 純資産の部 | |
| 土地 | 264,801,297 | 【株主資本】 | 1,054,396,022 |
| 建設仮勘定 | 0 | 資本金 | 36,000,000 |
| 無形固定資産 | 5,376,336 | 資本剰余金 | |
| 電話加入権 | 4,641,269 | 資本準備金 | 0 |
| ソフトウエア | 735,067 | 利益剰余金 | 9,000,000 |
| 水道施設利用権 | 0 | 利益準備金 | 9,000,000 |
| 投資その他の資産 | 111,844,540 | その他利益剰余金 | 1,009,396,022 |
| 投資有価証券 | 11,665,100 | 別途積立金 | 610,000,000 |
| 出資金 | 0 | 繰越利益剰余金 | 399,396,022 |
| 差入保証金敷金 | 715,396 | | |
| 長期前払費用 | 8,032,798 | | |
| 保険積立金 | 91,431,246 | | |
| 【繰延資産】 | 1,067,900 | | |
| 開拓費 | 1,067,900 | 純資産合計 | 1,054,396,022 |
| 資産合計 | 1,223,073,158 | 負債・純資産合計 | 1,223,073,158 |

個別注記表

2023年 1月 1日から

2023年 12月 31日まで

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

- ①有価証券の評価基準及び評価方法は、移動平均法の原価法によっています。
- ②棚卸資産の評価基準及び評価方法は、移動平均法の原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産の減価償却は、1998年4月1日以降取得の建物及び2016年4月1日以降取得の建物付属設備・構築物は法人税法による定額法を採用しております。それ以外の資産は法人税法による定率法を採用しております。
- ②無形固定資産の減価償却は、法人税法による定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

- ①貸倒り引当金は債権の貸倒れに備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しております。
- ②退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく自己都合による期末要支給額を計上しております。なお、従業員の退職給付の一部は中小企業退職金共済事業による外部積立をしており、会社が受益権を持たないものに限り外部積立額を控除して引当金を計上しております。
- ③役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金及び功労金等の給付に備えるため、役員退職慰労金支給規定に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

収益は実現主義により、費用は発生主義により計上しております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる事項

- ①リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の貸貸借取引に準じた会計処理によっています。
- ②消費税の会計処理は、税抜方式によっています。
- ③有形固定資産の減価償却累計額 696,041,011 円

2. 当期純損益金額

当期純利益の金額 3,180,364 円